

地域研究委員会 地域情報分科会 (第 25 期・第 5 回)
地球惑星科学委員会 IGU 分科会 地名小委員会 (第 25 期・第 6 回)
議事要旨

開催日時 令和 4 年 7 月 1 日 (金) 16:00~19:00

開催場所 遠隔会議

出席者：

地域情報分科会

出席：矢野桂司委員長、貴志俊彦副委員長、中谷友樹幹事

春山成子、石川義孝、伊藤香織、岡橋秀典、小口高、白藤博行、橋本雄一、俵木悟、村山泰啓、森田喬、山下潤、山本佳世子、渡辺浩平

欠席：石川徹、狩俣繁久、三重野文晴

IGU 分科会地名小委員会

出席：渡辺浩平委員長、岡本耕平副委員長、山田育穂幹事

春山成子、井田仁康、白藤博行、鈴木康弘、森田喬、高木彰彦、滝沢由美子、戸所隆、野々村邦夫、若林芳樹

欠席：山崎孝史、今尾恵介、梶田真、田邊裕

オブザーバー 本田智比古、三橋浩志

議題：

議題(地域情報分科会単独) 16:00~17:00

(1) 「未来の学術振興構想 (仮称)」

(2) その他

議題(地域情報分科会・地名小委員会合同) 17:00~18:00

(3) 提言・見解の作成について

(4) シンポジウムについて

議題 (地名小委員会単独) 18:00~19:00

(5) 地名をめぐる最近の動向

(6) その他

配布資料：

資料 0：開催通知

資料 1：第 25 期地域情報分科会 (第 4 回) 議事要旨案

資料 2：「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について

資料 3_1：地名データベースの構築と地名標準化機関の設置に向けて

資料 3_2：申出書 02-2_別紙様式

資料 3_3：報告地名標準化の現状と課題

資料 4：地名シンポジウム

議題

(1) 「未来の学術振興構想（仮称）」について（資料 2）

- ・ 大型研究として「未来の学術振興構想」の公募が開始された。俯瞰的で中長期的戦略を持つ課題の提示が求められている。
- ・ 地域情報分科会単独での申請は困難と考えられ、他の分科会と共同して出すことが望ましい。長期的かつ具体的ビジョンが必要である。ただし提案の段階で、どこまで（例えば複数の分科会で）融合・連携が必要なのかは分からない。
- ・ 「地域の知」の情報を集めて自由に使えるようにすることなどを中心に、連携や長期展望の可能性などを議論した。

(2) その他

特に無し。

(3) 提言・見解の作成について（資料 3）

- ・ 「地名データベースの構築と地名標準化機関の設置に向けて」を提言として提出すべく作業を進めることにした。
- ・ その内容や作業の予定について議論した。

(4) シンポジウムについて

- ・ 提言・見解本体の提出前後に、公開シンポジウムを開催する。
- ・ その内容や登壇者について議論した。

(5) 地名をめぐる最近の動向

地名をめぐる最近の動きについて各委員より話題提供があり、意見交換をした。

- ・ トルコの国名の英語表記の変更とそれにまつわる動き
- ・ 北京（Peking、Beijing）の日本における呼称
- ・ 国際河川であるドニエプル川の名称変更、など
- ・ 関連して、渡辺委員長より、新型コロナのため延期となっていた UNGEGN の Exonym Working Group の会合が今年 8 月 30 日～9 月 3 日にスロベニアの首都 ルブリャナで開催されることが報告された。

(6) その他

- ・地域情報分科会との合同開催の時間帯に議論された提言およびシンポジウムについて、引き続き意見交換を行った。
- ・ 上記1の地名をめぐる最近の動きについてシンポジウムで話題提供を行う可能性について
- ・ 地名を地域においてあるいは対外的に議論・検討する場としての委員会の必要性を提言で発信することについて
- ・ デジタル化・オープン化されない(地名を含む)情報の長期存続が難しいこと、一方で、インターネットで多用されることで通称が広く使われるようになること等に関する問題意識について
- ・ 提言やシンポジウムに関連して意見、アイデア等がある場合は、委員長等に連絡し、引き続き検討を続けていくこととなった。

以上